

訳26 ちようどそのとき、白い鳥で、
口ばしと脚（あし）が赤い、鳴
(しひ)ほどの大きさである鳥

が、水の上で遊びながら魚を食
べている。

訳27 京では見かけない鳥なので、居
合わせた人はだれも見知らない。

訳28 渡し守に尋ねたところ、「これ
が都鳥だ。」と言うのを聞いて、

訳29 名(な)にし負(お)はば

(都鳥といふ)名を

背負つて いるなら

いざ言(こと)問(と)はむ

さあ尋ねよう、

都鳥(みやこどり)

都鳥

わが思ふ人は

私が恋しく思う人は

ありやなしやと

無事かどうかと

訳30 と詠んだので、舟の中の人はそ

ろつて泣いてしまつた。

問一 渡し守に尋ねたのはいつか？

ア 舟に乗る前 イ 舟に乗つた後

訳29名(な)にし負(お)はば

(都鳥という)名を

背負つて いるなら

いざ言(こと)問(と)はむ

さあ尋ねよう、

都鳥(みやこどり)

都鳥

わが思ふ人は

私が恋しく思う人は

ありやなしやと

無事かどうかと

問二

「都鳥」という名を背負つてい
るなら」と「さあ尋ねよう」
の間に入る言葉は次のどれか。

ア恋愛には詳しいだろうから
イ都のことには詳しいだろうから
ウ私たちの都を思う気持ちがわかる
だろうから

問三

この歌の中の言葉をもとにつけられた橋の名は?

なりひら

こととい

あずま

ア業平橋

イ言問橋

ウ吾妻橋

このは空白ページです